

《第100回》田迎小学校3町内 砂入り子ども会（1）「新入生歓迎会」 育成会会長 坂口 正恵、 活動報告 市原 生美

令和6年5月26日(日)午前10時30分～12時、田迎団地集会所にて砂入り子ども会の子ども達と、保護者の方やご兄弟の皆さんにご参加いただいて新入生歓迎会を行ないました。

参加者は、16名で、小学生9名のうち、新入生が1名、新メンバーが1名、それに未就学児1名、保護者が6名でした。

先ず、「自己紹介しりとり」をしました。その後、「体内時計ゲーム」、「フルーツバスケット」、子ども会育成協議会からお借りした輪投げセットを使って「輪投げゲーム」などをして楽しみました。

新メンバーの子どもさんのお父様が途中からフルーツバスケットに参加くださり、鬼さんになった子から相撲をとりたいとリクエストされて相撲をとられました。思いがけない飛び入りの相撲に見ている人たちも笑顔になり、大変盛り上がりました。

短時間でしたが、学年を超えて楽しく交流することができました。これを機に、地域の子どもたちが益々仲良くなり、これからの活動にも積極的に参加してほしいと思います。

保護者の方々には、役員と一緒に歓迎会を盛り上げていただきました。ご協力、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



フルーツバスケット





大人対子どもの飛び入り相撲



輪投げ





《事務局から》

事務局長 白石 和典

- ① 早速の活動報告ありがとうございました。市子協HPでの単位子ども会の紹介は令和2年度から始めて5年目にはいりましたが。今回の砂入り子ども会の紹介が丁度100回目となりました。
- ② 新入生歓迎会はいろんなゲームをし、みんな仲良く楽しい活動になったようですね。このような異年齢集団の活動を通して、子どもたちは社会性、自主性、協調性などを身につけていくと思います。
- ③ 令和4年度市子協総会の講演で、関西大学次世代博士研究員・東海大学非常勤講師の田中晶子先生が、「子どものやる気を引き出すために 大人ができること ― 子ども会の活動を通して ― 」という話をされました。その中で、「動機づけを高める3欲求」 ○自分で決めた！○達成感があった！○友達と一緒にやった！大人が見守っていた！ とありました。砂入り子ども会の活動は正に、友達と一緒にやった、大人が見守っていた、です。さらに、大人が見守るだけでなく、ゲームの輪の中に積極的に入って、相撲まで取ってくださるとは素晴らしいですね。子どもたち同士、そして子どもたちと大人の素晴らしい交流が出来たと思います。
- ④ 砂入り子ども会の益々のご活躍と、子どもたちの健やかな成長を祈念いたします。